放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 5年 3月 1日

公表:令和 7年 3月 31日

事業所名 児童発達支援放課後等デイサービスあいハンド

	7/30	:令和 7年 3月 31日			事業所名 児童発	達支援放課後等デイサービスあいハンド
	ı	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制が	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切である	9		見意数に応じて職員 配置 調整を行っております。	
	2	職員の配置数は適切である	9			
		事業所の設備等について、パリアフリー化の				
整備	3	配慮が適切になされている	7	2		
業務改善		業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目			適官、会議にて行って	
	4	標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる 保護者等向け評価表を活用する等によりアン	9		おります。	
	5	ケート調査を実施して保護者等の意向等を把	9		とーティング等で改善 策を話し 合い、よりよ い支援へと 野めてお ります。	
	6	握し、業務改善につなげている この自己評価の結果を、事業所の会報やホー	8	1	ホームページにて 公開 いたします。	
	_	ムページ等で公開している 第三者による外部評価を行い、評価結果を業		2		
	7	務改善につなげている	7	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している アセスメントを適切に行い、子どもと保護者	8	1		不定期で研修会を 行って おります。
適切な支援の提供	9	のニーズや課題を客観的に分析した上で、放 課後等デイサービス計画を作成している	9		支援とーティングで共有し、 様々な視点から支援方法を検討 しております。	
	10	評検等アイザーとス計画を作成している 子どもの適応行動の状況を把握するために、 標準化されたアセスメントツールを使用して	9		社内規定のソール を使用して	
		lv3			おります。 会議にて立案、検討して	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている 活動プログラムが固定化しないよう工夫して	9		おります。	
	12	いる	8	1	会議にて立案、検 討して おります。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	8	1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計	9			
		画を作成している 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、そ			毎朝、スケジュー ルの他説	
	15	の日行われる支援の内容や役割分担について 確認している 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、	9		などを行います。	
	16	その日行われた支援の振り返りを行い、気付	9		気になったことは話し 合った り、連絡ノート を用いたりして 情報 共有しております。	
	17	いた点等を共有している 日々の支援に関して正しく記録をとることを	8	1	日々の記録に加えて、 特筆す べき所は別板記 録をとっており ます。	
		徹底し、支援の検証・改善につなげている 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ				
	18	サービス計画の見直しの必要性を判断してい る	9		遺宮、行っております。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	9			
関係機関	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議	0			反素発達支援管理責任者が出席しておりま すが、
	20	にその子どもの状況に精通した最もふさわし い者が参画している	9			交差免責支援管理責任者が出席しておりますが、 今後支援のスタッフも一緒に参加していけたらよいと検討しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の 交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調	9		先生や保護者様 と情報を共有 して おります。	
		整 (送迎時の対応、トラブル発生時の連絡) を適切に行っている				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい	8	1		現在、医療ケアが必要なお子様のご利用が ありませんので対応しておりません。
	23	る 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定	0	1	裁字に向けて必要な情報を	
	23	こども園、児童発達支援事業所等との間で情 報共有と相互理解に努めている	8	1	提供いたします。	
や保	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する場 合、それまでの支援内容等の情報を提供する	5	4	必要な情報を提供いたします。	まだ年業児童がいないため宇等する場合を 物定している職員とそうでない職員で常見 が分かれている
護者		合、それまでの文抜内谷寺の情報を提供する 等している 児童発達支援センターや発達障害者支援セン				THE CO.
との連携 保護者への説明責任等	25	元里光建文後センターや光建障合有文後センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9		今後、検討させて いただきます。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障が		9		今後、検討させて
		いのない子どもと活動する機会がある (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加し		J		いただきます。
	27	(地域日立支援) 協議芸寺へ模倣的に参加している	1	8		今後、被別させて いただきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解	9		必要に応じて個別に対応 させていただいております。	
		を持っている 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護		4		
	29	者に対してベアレント・トレーニング等の支 援を行っている	8	1		今後、検討させて いただきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につい て丁寧な説明を行っている	9		契約時に説明させて いただいております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に	9			想染症予防の観点から控えておりますが、国族や参戦 をしていきたいと検討しておりますが、
	51	適切に応じ、必要な助言と支援を行っている 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を	IJ			
	32	開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	1	8		感染症予防の軽点から行っておりませんが、今後、 検討させていただきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に	9			
	33	周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応している	7			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対	9			今後、被罰させて いただきます。
	35	して発信している 個人情報に十分注意している	9			
		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通				
	36	や情報伝達のための配慮をしている 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に	9			
非常時等の対応	37	開かれた事業運営を図っている 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感	1	8		
	38	染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者 に開知している	8	1		保護者等に説明できるようにスタッフ全員で 再皮維護 していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っている	9		北州的に実施しております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしている	9		対用的に実施し ております。	
		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行う				
	41	かについて、組織的に決定し、子どもや保護 者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放	8	1	契約時に説明させて いただきます。	
	42	課後等デイサービス計画に記載している 食物アレルギーのある子どもについて、医師	9		契約時に確認しております。	
	43	の指示書に基づく対応がされている ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共	7	2		専門に基づき、とーティング等で話し会い再発的止策を考えて共有していきます。
	43	有している	1	2		マン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・